第3位 ルールを守ってみんなで協力

意識を高める

除排雪に関して、これほどたくさんの問題があるとは知りませんでした。これからは市民の一人として意識を高め、ルールを守っていきたいです。（白石区・30代・女性）

みんなでルールを守ろう

除排雪に関する近所のトラブルに気を使い、体より心が疲れる季節です。みんなでルールを守りたいものですね。（豊平区・40代・女性）

雪の敷地内処理、よい方法はない？

自宅の雪は道路へ出さず、敷地内で処理するべきというけれど、敷地が狭いなど状況的に厳しい家もあります。できない家はどうしたらよいでしょうか？（南区・20代・女性）

「札幌市から」

敷地内からの排雪を減らす工夫の一つに、雪をその場で踏んで固める「雪踏み」があります。また、融雪槽やロードヒーティングを設置する場合には、市では、資金の融資あっせんを行っています。

今後は、住宅を建てる際に、建て主に雪のたい積スペースを確保してもらうよう啓発するなどの取り組みを進めます。

こんなアイデアも

①雪山にスコップを刺してすき間を作る、②石塀の周りに雪を積む。こうすると雪が早く解ける気がします。また、雪まつりに合わせ、各家庭、商店、事務所で雪だるまを作り、市全域を雪だるまでいっぱいにしてみてはどうでしょう？観光客も喜ぶし、市民みんなで雪まつりに参加している気持ちになれると思います。（豊平区・60代・女性）

3/6(土)開催 雪と暮らす おはなし発表会

小中学生が雪をテーマにして作った作文や絵画などの発表会です。作品のパネル展示や子供たちによるステージ発表を行います。

会場サッポロファクトリー（中央区北2東4）

※作品応募についての詳細は、雪対策室計画課へ

札幌 ゆきだるマンプロジェクト!!

2つの耳に、2つの願い。「なくそう路駐、へらそう排雪」

市民の皆さんに雪の問題をよく知ってもらい、一緒に取り組んでもらう「ゆきだるマンプロジェクト」が始まりました。主役の「ゆきだるマン」の2つの耳には、「なくそう路駐、へらそう排雪」という2つの願いが込められています。今年の冬は、「ゆきだるマン」と一緒に、雪と上手に暮らしてみませんか？

1 札幌ならではの耳のある雪だるま「ゆきだるマン」を作ろう！

「ゆきだるマン」は、雪だるまを作って、耳を付けるだけで出来上がり！楽しく簡単に作れて、おまけに排雪量を減らすことにもつながるので、一石二鳥です。

作った「ゆきだるマン」の写真を投稿して、みんなにお披露目しよう！
HP yukidaruman.jp

2 アニメーション番組「パパは雪だるま!」を見よう！

4人家族のお父さんは、なんと雪だるま。この一家が、市の雪対策の問題や冬の市民生活ルールを、分かりやすく解説します。ご家族皆さんで、ぜひご覧ください。

放送日時3月18日までの毎週木曜 午後7時50分～55分（全10回）
放送局北海道放送（HBC）

3 さっぽろ雪まつりのつどーむ会場で「ゆきだるマン」に会おう！

「ゆきだるマン」との撮影会、市民や企業が作った「ゆきだるマン」の写真展などを開催します。

日時
2月5日（金）～11日（祝）
午前9時～午後5時
会場
つどーむ（東区栄町885）